

## 同窓会報

第20号

## りまん

- 発行  
山形県立加茂水産高等学校  
同窓会りまん  
〒997-1204  
山形県鶴岡市加茂字大崩595  
TEL. (0235) 33-3031  
FAX. (0235) 33-0465
- 印刷  
富士印刷株式会社



9月16日に2年海洋技術系（男子7名）の総合実習航海の出港式が10年ぶりに加茂港で行われました。  
今年は9月10日から11月8日の期間に行い、関門海峡にも行ってきました。



7月20日に同窓会りまん総会が開催されました。今年度の開催案内はコミュニティー新聞にて行いました。  
次年度の開催日は5月の役員会にて決定します。

## ご挨拶

同窓会りまん会長・鶴岡支部長

五十嵐 眞一



全国でご活躍  
されておられま  
す同窓会りまん  
会員の皆様にお  
かれましては  
益々ご健勝のこ

ととお喜び申し上げます。

令和七年三月一日、六年度卒業生  
海洋技術科九名 海洋資源科十名の計  
十九名のりまん会員の入会を得て、会  
員総数4839名を擁するに至りまし  
た。

又、念願だった同窓会りまん会員名  
簿の継続版は二十三年ぶりに本年七月  
一日付けで刊行されました。故佐藤満  
前会長、他、発刊に携わられた方々ぞ  
して資金の御協力を頂きました皆様に  
心より感謝申し上げます。

令和七年度の総会は、本部と鶴岡支  
部の合同で懇親会を含め七月二〇日に  
ベルナル鶴岡で行われ二十八名の出  
席を頂き、盛況に終えることが出来ま  
した。

九月十六日には、十年ぶりに加茂港  
より「鳥海丸」が、日本海のイカ釣漁、  
カニ簗漁などを行う二か月間の実習航  
海に出港しました。

この航海は、資源調査の一端をも担  
うものですが、最近、特に今年七・八  
月には青森県や岩手県の沖で前年同期  
の約三・七倍のスルメイカの漁獲があっ  
たとし、専門家からは黒潮の「大蛇行」  
が四月に終息したことで高い生存率で  
日本の太平洋側を北上できた可能性が

指摘されております。

スルメイカの漁獲枠を巡っては、「太  
平洋側の漁況が好調だったことを受け、  
九月に三十四%拡大。それでも小型漁  
船によるスルメイカ釣り漁が枠の上限  
に達し、水産庁は十一月一日からこの漁  
法での操業停止を命じている。スルメイ  
力は近年記録的な不漁が続く、202  
5年漁期（25年4月～26年3月）の漁  
獲枠は当初、24年比76%減の1万92  
00トンと設定。漁獲枠を設けた19  
98年以降最小としていたが、九月に  
増枠したばかりの年間漁獲枠2万58  
00トンを再度増枠する方向で検討し  
ていることが4日、分かった。」これは  
十一月五日、八日の山新記事の抜粋で  
すが詳細については、当新聞をご覧く  
ださい。あまりにも急激な海象異変に  
漁業関係者も省庁も困惑している事が  
うかがえます。

扱、今般特に昨今は、異常気象によ  
るといわれる災害が連続で発生してお  
ります。気象予報士の森田氏が十一月  
十二日のマスメディアで「30年に一度と  
いわれる気象異変が毎年のように起こ  
る事を異常気象という」と称していた  
が海象にも起きているようです。

この度は、水産業界に焦点を絞った  
ナ・ティブとイ・シューをあげてみました。  
結びに、会員各位一層のご健勝とご  
多幸を御祈念申し上げますとともに  
母校並びに同窓会りまんのさらなる発  
展に向け、ご支援とご協力を承ります  
ようお願い申し上げます。

## ご挨拶

校長 小山 和彦



本校同窓会りまん  
会員の皆様におかれ  
ましては、日々様々  
な分野でご活躍のこ  
ととお喜び申し上げ  
ます。

昨年度に引き続き、校長を仰せつかつて  
いる小山和彦です。県内唯一の水産科を設  
置する伝統ある本校において、校長として  
着任して二年目を迎えることをたいへん嬉  
しく思うとともに、気持ちを新たに、  
本校教育の更なる充実と発展に向けて先生  
方とともに取り組んでいるところです。

今年度、本校では二十二名の新入生を迎  
え、全校生徒六十名でスタートしました。  
全ての学年で水産科一学科となり、海洋技  
術系、資源増殖系、食品系の三つの類型に  
おいて、「海・船・水産物」のスペシャリ  
ストの育成を目指しております。

四月からこれまでの学校の様子をいくつ  
か紹介しますと、学校行事等は、恒例の五  
月の水開きに始まり、七月には創立記念  
カッターレース大会が行われ、そして湯野  
浜海岸でのシーサイドフェスティバルでは、  
PTAの皆様方からもご協力をいただき、  
快晴のもと大いに盛り上がったところです。  
実習船鳥海丸での航海実習も一年生の函館  
への体験航海からスタートし、三年生海洋  
技術系の沿岸航海、二年生各類型の航海実  
習もそれぞれの目的を達成する充実したも  
のとなりました。特に二年生海洋技術系に  
よる二ヶ月間の長期航海は、県当局による  
長年の浚渫工事によって鳥海丸の加茂港へ  
の入港が可能となり、平成二十七年以来十

年ぶりに本校舎を望む加茂港での出港式を  
行うことができました。また、今回初めて  
鳥海丸が関門海峡を通過し、下関港へ入港  
したところです。これは、船舶交通が多く  
狭い海域を航行することで、より高度な航  
海術を経験するために新たに計画したもの  
になります。

部活動についても、今年度も大いに活躍  
しています。相撲部とヨット部は、部員数  
は少ないながらも、東北大会や全国大会に  
出場しました。また、水産生物部とダイビ  
ング部では海洋生物や海洋環境に関する研  
究にも取り組み、学校内外の成果発表会に  
も繋がっています。

七月四日には創立七十九周年記念式典を  
挙行いたしました。校長式辞では、本校昇  
降口階段わきに胸像として建立されている  
「白瀬南極探検隊員・土屋友治氏」の偉業  
を紹介するとともに、海に生きる生徒たち  
にシーマンシップとパイオニア精神を呼び  
掛けていることと、本校の校訓である「質  
実剛健」「不屈不撓」の精神に通ずるもの  
があることを話したところです。

来年度、本校は創立八十周年を迎えます。  
これまでの伝統を引き継ぎ、今後とも我が  
国や地域社会における水産や海洋関連産業  
を担う人材育成を本校の使命としながら、  
地域との連携の強化やデジタル技術の積極  
的な活用等により、海を学びの場とした水  
産教育を更に充実させてまいります。

同窓会の皆様方には、今後とも母校加茂  
水産高校の発展に向けた温かいご支援とご  
協力を賜りますようお願い申し上げます。ご  
挨拶いたします。



## 関西支部 より



関西支部事務局  
阿部 正司  
(昭和51年  
漁業科卒)

同窓会会員の皆様におかれましては、  
益々の御健勝の事と存じます。

さて、今年に入り関西支部長の佐藤氏  
が御逝去されまして、関西支部の総会が  
開催されていない為、支部長の席が空席  
のままになっています。

令和2年の会報にも書かせて頂いた様  
に、先進国の出生率低下の為人口減少で  
高齢化が進み、コロナでの行動規制が約  
4年間続いたので、交流が無くなり支部  
活動も出来ない状況でした。その後の総  
会への参加者も6名と少なくなりまし  
た。昭和30年代から高度経済成長もあり  
卒業生も多く、就職者も増え、関東、中京  
関西方面への就職率も増加し、先輩達の  
いる会社等に入社し繋がりもできたの  
で、各支部が活動できたと思います。

先輩の関東支部会長の会報にも載って  
いた「同窓生は入ってきておらず生徒数  
の減少だけでなく水産業界の構造変化も  
あり就職も少ないのが現状なのでしょ  
う。」又環境問題、経済成長に伴う変化、  
海水の温暖化、水産業の変化等多様な問  
題を抱えています。日本財団の「渚の  
交番」プロジェクトの支援を受けて完成  
した「渚の交番カモンマーレ」と連携し、  
海洋技術系が沿岸実習で漁獲した水産物  
を活用したコラボ製品販売や食品系では  
課題研究において未利用魚・低利用魚を  
活用した食品開発など「海洋教育の推進」  
を行っており、今後も水産教育を通じて  
地域社会に貢献し続けてください。

因みに私は、入学後相撲部に入部、大  
学に進学、卒業後、滋賀県に教職員とし  
て就職、定年まで勤めましたが、水産関  
係とは違う職業の為、同窓会も40代後半  
からの参加で係り薄い関係でしたが、現  
在事務局を担当しています。

それでは会員の皆様方、学校職員、事  
務局の益々のご発展を心より御祈念いた  
します。

「合掌」



令和6年度 卒業生の進学・就職先一覧 (五十音順)

進 学

- 【四年制大学】 ・大東文化大学 スポーツ健康科学部
- 【専門学校・各種学校】
  - ・ 仙台ECO動物海洋専門学校 (3)
  - ・ 新潟デザイン専門学校
  - ・ Wan国際ペットワールド専門学校

就 職

- 【県内就職】
  - ・ (株)庄内浜食品 第十一幸運丸
  - ・ 株式会社 平牧工房 (2)
  - ・ 農業 (自営業)
- 【県外就職】
  - ・ 枝幸ほたて漁業共同企業体
  - ・ 日東水産株式会社石巻営業所 (巻網漁船)
  - ・ 北星海運株式会社 (RORO船)
  - ・ 一般社団法人鶴岡市開発公社(加茂水族館)
  - ・ 株式会社山形イエローハット新庄店
  - ・ 勝倉漁業株式会社 (遠洋マグロ漁船) (2)
  - ・ 八戸船舶株式会社 (セメント運搬船)

令和6年度 一般会計決算書

R6.4.1 ～ R7.3.31  
単位：円

収入の部

科 目	令和6年度		令和7年度 予算額	備 考
	予算額	決算額		
入 会 金	66,500	66,500	59,500	
会 費	38,000	38,000	34,000	
繰 越 金	162,492	162,492	131,115	
雑 収 入	50,013	57,013	50,001	決算額は特別会計より補填
合 計	317,005	324,005	274,616	

支出の部

科 目	令和6年度		令和7年度 予算額	備 考
	予算額	決算額		
1 総 会 費	55,000	22,000	30,000	会場代
2 記 念 品 費	23,000	44,280	40,000	卒業生 (19 名) へ記念品 (卒業証書ホルダー)
3 助 成 金	30,000	40,000	40,000	学校後援会 30,000・鶴岡支部へ 10,000 助成
4 激 励 金	60,000	0	40,000	
5 通 信 費	10,000	5,378	10,000	切手・ハガキ
6 備 品 費	2,000	0	2,000	
7 会 議 費	2,000	1,258	2,000	役員会お茶代
8 消 耗 品 費	6,000	4,477	6,000	
9 交 際 費	30,000	43,597	30,000	
10 広 告 費	22,000	31,900	32,000	同窓会総会広告31,900、
11 雑 費	2,000	0	2,000	
12 事 業 費	1,000	0	1,000	
13 予 備 費	74,005	0	39,616	
合 計	317,005	192,890	274,616	

## 令和6年度 事業報告

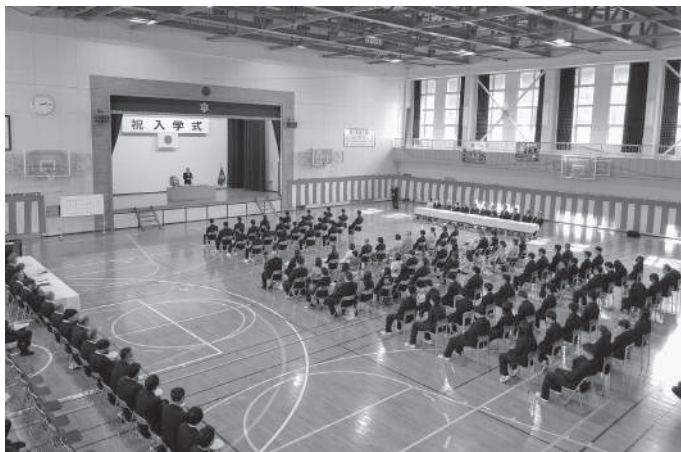
年月日	事業等	出席者等	備考
4月 8日(月)	令和 6年度 母校入学式	顧問、副会長、事務局	水産科 21名
5月 1日(水)	母校水開き	事務局	
6月 1日(土)	同窓会役員会 14:00	会長、顧問、副会長 理事、事務局	母校会議室
6月 1日(土)	会計監査	監事、会計担当	
7月 5日(金)	母校創立78周年記念式典、カッターレース大会	会長、顧問、副会長 事務局	母校体育館
7月21日(日)	本部総会	顧問、会長、副会長 理事、会員、事務局	ベルナール鶴岡
9月13日(金)	鳥海丸出港式(2年水産科 海洋技術系 8名)	会長、顧問、副会長 事務局	酒田港
11月 1日(金)	母校水納め	事務局	
令和7年 1月 6日(月)	船霊祭	会長、顧問、副会長 事務局	母校会議室
2月 1日(土)	令和6年度「会報」発行		
2月19日(水)	母校後援会へ助成金		
3月 1日(土)	同窓会入会式 卒業記念品贈呈 海洋技術科9名、海洋資源科10名 令和6年度 第77回 卒業証書授与式	会長、顧問、副会長	母校体育館
3月24日(月)	母校転出者送別会 【転出者】 田中 大司 事務長、佐藤 雄樹、三浦 仁志、 白澤 誠、 宮内 敦史 以上 6 名 【転入者】 杉山 清 事務長、志藤 葉子、 伊藤美由紀 事務次長、 以上 3 名	事務局	母校会議室

## 令和7年度 事業計画(案)並びに経過報告

年月日	事業等	出席者等	備考
4月 7日(月)	令和 7年度 母校入学式	顧問、会長、副会長、事務局	水産科 22名
5月 1日(水)	母校水開き	事務局	
5月24日(土)	会計監査	監事、会計担当	
5月24日(土)	同窓会役員会 14:00	会長、顧問、副会長 理事、事務局	母校会議室
7月 3日(木)	同窓会りまん名簿発行・発送		
7月 4日(金)	母校創立79周年記念式典	会長、顧問、副会長 事務局	母校体育館
7月20日(日)	本部総会(予定)		
9月16日(月)	鳥海丸出港式(2年水産科 海洋技術系 7名)	会長、顧問、事務局	加茂港
11月 1日(土)	母校水納め	事務局	
11月 日( )	令和7年度「会報」発行		
令和8年 1月 5日(月)	船霊祭	会長、事務局	母校会議室
2月 日( )	母校後援会へ助成金		
3月 1日(日)	同窓会入会式 卒業記念品贈呈 水産科 17名 令和7年度 第78回 卒業証書授与式	会長、事務局	母校体育館
3月 日( )	母校転出者送別会	事務局	母校会議室



# 活動スナップ

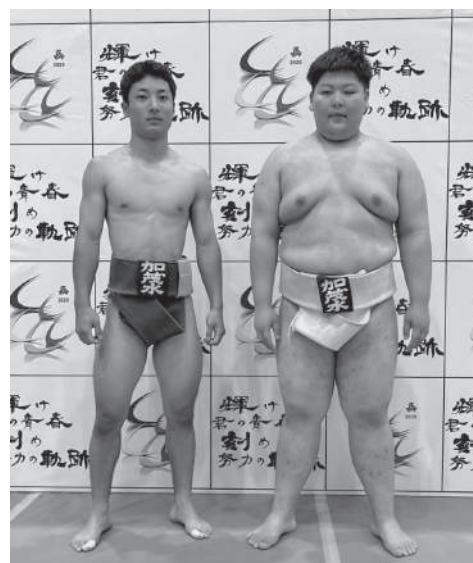
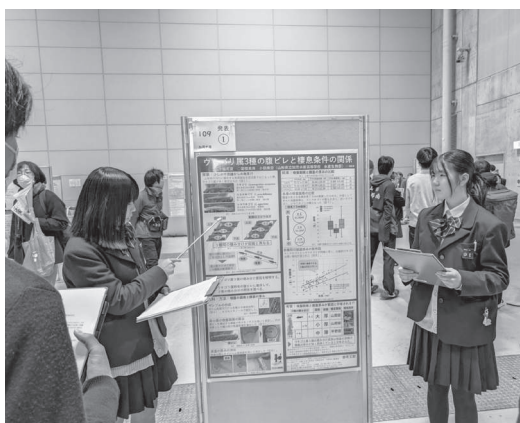


今年度は22名（男子18名、女子4名）が入学しました。  
対面式では生徒会メンバーが親睦を深めるために、学年混合のクイズ大会を開催してくれました。



今年は2年に一度のシーサイドフェスティバルを7月11日に湯野浜海岸で行いました。ビーチフラッグスや綱引き、カヌーレース、リレーなどビーチならではの競技が行われました。

## 部活動



今年も部活動頑張っています。水産生物部1年の富樫美海さん、五十嵐花夏さんが県内大会で最優秀賞を受賞し次年度の全国総合文化祭出場決定！同じく水産生物部2年の上野結月芭さん、1年富樫美海さんが生徒研究発表東北大会で日本水産学会東北支部長特別賞を受賞！滋賀国民スポーツ大会に、ヨット部2年の中鳥寿帆君、相撲部3年の板垣成君、1年今川令羅君出場！全日本セーリング選手権大会では中鳥寿帆君が第3位！

## 同窓会報19号発行維持会費納入者名簿

卒業年. 科	氏 名	卒業年. 科	氏 名	卒業年. 科	氏 名
s. 29. g	小田 俊道	s. 40. k	佐藤日出雄	s. 48. k	粕谷 修次
s. 30. g	加藤 達男	s. 41. g	佐藤 金二	s. 48. k	斎藤 正哉
s. 32. g	阿部 正和	s. 41. g	佐藤 康一	s. 48. k	後藤 祐二
s. 32. g	渡辺 勲	s. 41. g	斎藤 弘道	s. 48. k	今野 兼明
s. 34. g	佐藤 正夫	s. 41. g	田中 悟朗	s. 49. g	田澤 喜一
s. 34. g	吉田 英一	s. 41. s	阿部 成章	s. 49. g	安喰 幸則
s. 34. s	奥山 洋治	s. 41. s	扇 徹	s. 49. k	渡部 哲弥
s. 34. s	齋藤 秀夫	s. 41. s	富樫 三男	s. 50. s s	長南 収
s. 34. s	鈴木 忠	s. 41. s	米村 正明	s. 50. s s	平方 正
s. 35. g	佐藤 明生	s. 41. s	松浦 秀雄	s. 50. s s	佐藤みどり
s. 35. s	岡田 正雄	s. 41. k	五十嵐眞一	s. 50. k	佐藤 正義
s. 35. s	鈴木 修	s. 41. k	難波 浩	s. 50. k	渡部 善夫
s. 36. g	本間 仁一	s. 42. s	工藤 敏一	s. 51. g	佐藤 久哉
s. 36. s	阿部 俊雄	s. 42. s	山田 寿栄	s. 51. g	佐藤 敦
s. 36. s	佐藤 征紀	s. 42. k	相沢 重義	s. 51. k	飯野 隆行
s. 36. s	菅原春日子	s. 42. k	遠藤米太郎	s. 51. k	白澤 誠
s. 37. g	齋藤 正美	s. 43. g	井上 正	s. 51. k	佐藤 延洋
s. 37. g	小松 弘志	s. 43. g	佐藤長悦郎	s. 51. k	阿部 新二
s. 37. g	氏家 武士	s. 44. g	小玉 豊	s. 51. k	長谷川慶造
s. 37. g	長谷川 勇	s. 44. g	佐藤 哲夫	s. 51. k	佐藤 伸
s. 37. s	丸子 稔	s. 44. g	渡会 慶一	s. 51. k	山田 豊夫
s. 37. s	宮本 守	s. 44. s	斎藤 貢作	s. 52. s s	小野寺 巖
s. 38. g	佐藤 清	s. 44. s	工藤 繁	s. 52. s s	佐藤 亮二
s. 38. s	土岐 清勝	s. 44. k	佐藤 正廣	s. 53. g	富樫 惣一
s. 39. g	宇佐美未吉	s. 44. k	五十嵐哲雄	s. 53. k	高橋 忠夫
s. 39. g	高橋 誠	s. 44. k	田澤 豊	s. 53. k	門脇 登
s. 39. s	岡村 伸一	s. 45. g	高橋 幸義	s. 55. k	大場 誠市
s. 39. s	佐藤 平吉	s. 45. s	佐藤 繁広	s. 56. g	佐藤 公一
s. 39. s	佐藤 明	s. 45. k	佐藤 有造	s. 56. g	富樫 春夫
s. 39. s	坂井 正弘	s. 46. s	山口 金悟	s. 56. k	佐藤 剛
s. 39. s	鈴木八十美	s. 46. k	高橋 吉和	s. 56. k	佐藤 栄一
s. 39. s	丹治 紀芳	s. 47. g	遠藤 一彦	s. 57. k	板垣 寿勇
s. 40. g	菅原 豊喜	s. 47. g	佐藤 弘	s. 57. k	五十嵐茂行
s. 40. g	佐藤 実	s. 47. g	佐藤 隆	s. 59. k	佐藤 浩
s. 40. g	佐藤 東一	s. 47. s	本間 広喜	s. 60. s s	今井 郁
s. 40. g	松浦 安洋	s. 47. k	佐藤 光良	s. 60. k	佐藤 浩
s. 40. s	竹山 弘子	s. 47. k	鈴木 重作	s. 63. g	菅原 健
s. 40. k	秋野 勝幸	s. 47. k	庄司 博	s. 63. g	今井 栄治
s. 40. k	阿部 猛	s. 47. k	本間 茂良	h. 2. s	坂本 実成
s. 40. k	今井 友一	s. 47. k	佐藤 一志	h. 3. s	大瀧 敏弘

卒業年. 科	氏 名	卒業年. 科	氏 名	卒業年. 科	氏 名
h. 4. s	佐藤 良	h. 15. s	土田 秀人	h. 21. s	木村 和人
h. 4. d	本間 伸栄	h. 15. e	小野寺将史	h. 22. e	土門 拓矢
h. 6. s	相馬 茂和	h. 15. e	佐藤 専寿	h. 24. s	佐藤 真也
h. 6. s	佐藤 誠	h. 15. e	太田 駿	h. 24. e	小山田光宏
h. 6. s	佐藤 洋生	h. 16. s	佐藤 隆雄	h. 25. s	伊藤 隆介
h. 8. s	筒井 俊	h. 17. s	小林 孝平	h. 25. e	藤原 克樹
h. 9. s	佐藤 雄介	h. 18. e	地主 彩乃	h. 28. s	堀 大輝
h. 9. s	前田 治雄	h. 19. s	佐藤 勝則	h. 30. r	青山 颯
h. 11. d	布川陽一朗	h. 19. e	佐藤 悠子	h. 31. s	田村 駿
h. 11. m	上林 真幸	h. 19. e	永野 裕也	h. 31. s	太田 航平
h. 12. s	上林 智光	h. 20. s	渡邊 和貴	r. 2. s	大場 龍汰
h. 14. s	齋藤弘太郎	h. 21. s	土井 拓也	r. 3. r	大滝 奉先

### 学科改編【卒業年】 ※卒業年度ではない

- |          |                         |          |                        |
|----------|-------------------------|----------|------------------------|
| ①S25～S39 | G(漁業科)、S(製造科)           | ④H2～H13  | S(海洋科)、M(食品流通科)、D(開発科) |
| ②S40～S48 | G(漁業科)、S(製造科)、K(機関科)    | ⑤H14～H25 | S(海洋技術科)、E(海洋環境科)      |
| ③S49～H元  | G(漁業科)、S S(水産製造)、K(機関科) | ⑥H26～    | S(海洋技術科)、R(海洋資源科)      |

誠にありがとうございました。

## 同窓会員の皆さまへ

会報発行のための維持会費の納入をお願いしております。一口2,000円です。

同封の「払込取扱票」(振込用紙)により納入をお願いいたします。

住所、電話番号、勤務先等に変更があった時は、払込取扱票にその旨をご記入いただくか、事務局までハガキまたはFAXにてご連絡ください。

ゆうちょ銀行

- ・口座番号 02210-5-47501
- ・加入者名 山形県立加茂水産高等学校 同窓会りまん

## 「同窓会報 りまん」WEB掲載のお知らせ

会員の皆様におかれましては、日頃より本会の活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年度の「同窓会報 りまん」が完成いたしました。昨年度より、卒業生の減少や送料の値上げ等によりWEBでの掲載に代えさせていただくこととなりました。右の同窓会QRコードにアクセスしていただきご覧ください。なお、今後納入していただいた方につきましては、次回の会報発行時に紙面を郵送いたします。

行事等を掲載



HP



フェイスブック



インスタグラム



同窓会りまん